

根来山げんきの森倶楽部

令和4年8月作業日誌



9月に入っても厳しい暑さが続いています。朝夕はいくぶんか涼しくなってきましたね。今回の活動日は雨の中40人の倶楽部員が集まり、里山・歩道・うるし谷の整備、炭材作りに昆虫ホテルの改装など、和気あいあいと作業に汗を流していただきました。

活動日：令和4年8月21日(日) 9:30～15:30 天気：晴れ 倶楽部員：40人

自然の恐ろしさや素晴らしさを感じて

里山整備

今回は新しくげんきの森倶楽部に見学に来られたイケメン♡な男性2名と、今日から新しく倶楽部員になられた可愛らしい♡高校生の方、大ベテランの先輩方と作業を行いました。午前中は雨が降っていたため本格的に活動することはできませんでしたが、整備する場所を案内していただき、また、ノコギリの使い方についても指導していただきました。ノコギリを初めて使ったのですが、とても労力が伴い大変だと思いました。

午後からは、主にカシノナガキクイムシにより枯れてしまったコナラの木を伐採し、整備するという作業を行いました。私は先輩方がチェーンソーを用いて伐採した木をロープを使うなどして下におろし、積み上げていく作業を行いました。大木が切られる瞬間を初めて見たため、その大迫力に圧倒されたと同時に自然の恐ろしさや素晴らしさを肌身に感じました。また、木を伐採する際の安全指導も行っていただきました。ケガをしないよう、教えていただいたことを肝に銘じて安全に作業を行って行きたいです。

無事、ケガもなく整備することができ、とても達成感を感じました。皆さん汗だくになりながら一生懸命に作業を行っていました。お疲れ様でした。次回も頑張っていきたいと思います。

(近畿大・箕浦 有紗)



炭焼きの再開にむけて

炭材作り

本日の炭焼き班の作業は、男女7名で炭材作りをしました。げんきの森で伐り出された丸太は、予め炭材用にカットされていますが、太いものは薪割り機で割って炭材に使います。この日は薪割り機に付ける前に長めの木をいい長さに切り揃える人、丸太や割った木を運ぶ人、薪割り機を操作する人に分かれて作業を進めていきました。午前午後と役割分担し皆で協力し合った作業はスムーズに流れ、積み上がっていた丸太が随分と減り、炭材置き場が少し潤いました。9月からは暑い時期は中断していた炭焼きが再開されます。いい炭が焼けるように頑張っていきましょう。皆さんお疲れ様でした。(岡 尚美)

大変・・・でも、爽快！

うるし谷整備

参加者 8 名 作業内容は、①谷川に設けた橋の天板作り②草刈り③エノキの伐採とその処理、整理です。それぞれに分かれて作業をしました。

①前月の活動日に作った橋の天面に凹凸があり、未完成だったので、長さ約 1500 mm、幅約 250 mm、厚み約 50 mmのスギ板を 2 枚合わせて、1 枚にした天板を作りました。1 枚ずつの端を削りながら、ピッタリと合う様に調整をして、裏から両端、真ん中の 3 カ所に 50 mm角の材を当てて、2 枚を固定しました。材を作り保管して頂いた先輩方のおかげで、厚さ 50 mmもある材はとても重厚なので立派な



モノが出来ました。後は、ペンキを塗って橋への取り付けとなります。

②今日の草刈りの場所にはまだまだ沢山の石があります。この石が作業をととても妨げますが、今日は 2 台の刈払い機での稼働でしたので、作業面積はグーンと広がり、予定していた所の草刈りは全て終える事が出来ました。2 台だとこんなにも違うものかと改めてビックリでした。草刈りは大変ですが、刈り終わった後の爽快感は何ともたまらなくキモチ良いモノです。

③切り口サイズ、最大で約 790 mm、最小でも 680 mmもあるエノキの大木は、あれよあれよという間に、植栽をしてある幼木を避けて見事に倒れました。凄い迫力音でした。お見事でした。

樹形を見て、バランスを考えて切り口を入れる判断と技術はいつも素晴らしいです。伐採後の処理、整理を途中にして作業は終わりました。安全に作業が出来て良かったです。

「今日のはかどったなあー！」と皆さんの満足気な顔。ありがとうございました。(林 哉也)

来年に期待を込めて

昆虫ホテル改装

小雨の中、午前中から 5 人で作業しました。

昨年カブトムシの幼虫をたくさん頂き入れていたのですが成虫になった様子もなく生存確認ゼロで、環境整備が必要だということになったからです。

午前中は、小屋の中の土を総入れ替えするために土の搬出作業をしました。上の土は硬くなっていたので思ったより大変で、さらにその下には砂利が敷き詰めてあって園芸作業程度と思いきや土木作業へと変わり、皆スコップを手に汗だくで外に出し、土は駐車場の周りに砂利は小屋周りの管理等の裏に敷きました。小屋はもう少し雨水が入る方がいいだろうと屋根の金網を半分取り除き落ち葉やクモの巣を取り掃除しました。作りがしっかりとっていたので思ったより朽ちていませんでした。

午後からは 3 本クヌギを植え、腐葉土を半分くらい入れ残りは倒して置いていた木をチップーにかけて小屋に入れました。これでふかふかの土で雨水もよく入るようになるので、来年はたくさんのカブトムシが孵りますように。期待大です。(栗山 美和)



歩道整備

朝からやや強い雨が降り作業は中止かなと思っていました。朝の天気予報では雨は徐々に止むとのことでしたが、そんな中、やや中途半端な気持ちで作業を開始しました。

今回は先月に引き続き歩道の整備です。メンバーは5名。森の広場にプールしていた横木も無くなっていたので、午前中は横木の確保をすることにしました、前に舞台用のヒノキ材を伐採した現場で横木に適した丸太数本をロープ、滑車を用いてメンバー力を合わせて上側の道路まで引き上げた所で雨も上がりました。

午後からはメンバーも1名増えて6名で作業にとりかかり、使用する横木、杭、かけや、鋤簾、鍬、等テラーに積み込み、森の広場から西展望方面の現場に運搬し作業を始めました。雨で少し土砂崩れがありましたがメンバーは慣れた手つきで作業を進めました。特に、柔らかい路肩、山側の盛り上がった土砂等をきれいにならしました。

仕上がった所は道幅も広がり大変歩きやすく、木陰も多くて快適なルートです。まだまだ傷んだ箇所も多くこの作業は少しずつでも継続的にやりたいですね。今日は雨の中、暑い中皆さんお疲れ様でした。(土生川 幹夫)



2年間事務局をお手伝いいただいた秦野裕子さんが第2子出産のため、今月から事務局を離れることになりました。会計事務、運営会や理事会の資料作り、県庁への報告や様々な交渉ごとと携わってくれたほかに、作業日誌に新しく写真を取り入れてくれたり、インスタグラムでの情報発信を始めてくれたり、今年初めからは倶楽部のHPを新しくするために色々工夫をしてくださっていました。ありがとうございました。

後任には会計業務については田中美加さん、事務手続き業務は谷藤秀子さんが引き継いでくださることになりました。お二人ともよろしくお願ひします。

みなさんも仲良くお願ひいたします。(岡田 和久)